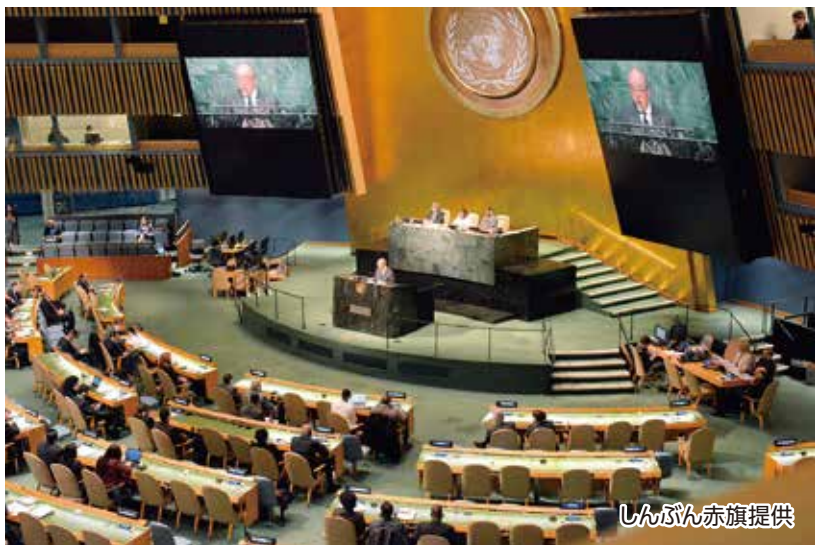
●生活・法律相談は
◆市議会議員
いぬい紳一郎
◆市議会議員
徳増きよ子
◆市議会議員
小田桐たかし
◆市議会議員
植田　和子
日本共産党流山市議団　http://www.nagareyama-jcp.jp/
kfbkd645@ybb.ne.jp

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽におよせ下さい。

流山民報

2017年4・5月号
第191号
編集発行人
日本共産党流山市議団
流山市加4-1688　TEL (7157) 6140
流山市議会事務局
TEL (7158) 1111

保育、学校、介護、医療…
願いにこたえる政治を
日本共産党


歴史上初の核兵器禁止条約を主題にすえた「国連会議」が始まりました
しんぶん赤旗提供

人口急増・街の変化、公共施設老朽化、
市民置き去りは許せません

森友問題では政治における『公正・公平』『情報開示』が問われています。また、安保法制＝戦争法の下で派遣された自衛隊は5月の撤収が決定。治安悪化と自衛隊の安否が心配されます。

日本共産党は、国会と国民や地方議会を結び、平和から身近なくらしにいたるまで様々な課題解決に力を尽くしています。

また3月26日投開票の千葉県知事選では、県政史上初、市民と野党の共同で候補者を擁立。公約実現に共同の輪をさらに広げる決意です。

平成29年度予算に反対

H29年度は、TX沿線での人口急増と多様化する市民要望、既成市街地での高齢化や空き家の増加など山積する課題に応えた施策が求められます。

しかし、予算の一番の特徴は小中学校における過大・過密（マンモス）校の拡大です。きめ細やかな教育が困難など教育的支障が文部科学省から指摘されているのに、井崎市長は反省するどころか、自らの施策の成果に胸を張り、『受け皿なき』人口誘致の継続に固執し続けています。

その他、TX沿線の大規模開発は最優先する一方…

①市債は500億円を超え史上最高を更新中であること。

②積立金は115億円から57億円へ半減するとともに、焼却場など必要な施設更新への積立が不十分なこと。

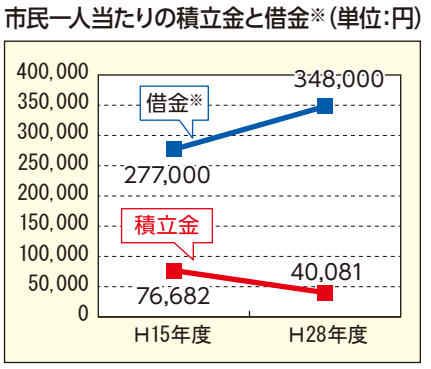
③築30年余の保健センターや市役所第1庁舎の大規模改修が未実施など老朽化が進行していること。

④市職員数の慢性的不足と団塊世代の大量退職に対策が打てていないこと。

⑤際限ない民間委託で低賃金短時間労働が公共サービスに蔓延していることなど深刻な課題への手立てが取れておらず、市民生活置き去りの市政運営は許されません。



市民一人当たりの積立金と借金※（単位：円）



※市債及び債務負担行為の合計額（予算ベース）

議員の一般質問10分削減
市民と市政のパイプを細める行為です。

議員の一般質問の持ち時間を10分短縮する試みが6月議会からはじまります。現状では平均20人が質問しているので200分、5人分の質問がなくなることに、定数を5人減らしたことと同じです。人口増と市民要求が渦巻く流山市で、市民の声を市政から遠ざけることになります。議員はもっと働いてほしいとの市民の思いとも逆行し、一番得をするのは市長です。内部で意見が分かれている会派もある中で採決を急ぎました。最終的な賛否の表明では46％が拙速な導入に反対しており、意見が2分していることが明らかに。議案への態度とは異なり、議会運営の問題では、あくまで議会全体が概ね一致できるよう議論を尽くすべきです。

会派	日本共産党				流政会									自由民主党				市民クラブ					公明党						
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾　紳一郎	小田桐　仙	徳増記代子	植田　和子	森　亮二	青野　直	笠原　久恵	近藤　美保	坂巻　儀一	野田　宏規	大塚　洋一	石原　修治		根本　守	中村　彰男	海老原功一	中川　弘	加藤　啓子	藤井　俊行	西川　誠之	楠山　栄子	森田　洋一	西尾　段	秋間　高義	斉藤　真理	戸部　滋	野村　誠	菅野　浩考	阿部　治正
平成29年度流山市一般会計予算（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
「カジノ解禁に伴う法規制などを定めた実施法案の策定延期を求める意見書」の提出を求める陳情書（採択）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「共謀罪」の新設に反対する意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×		×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○

切実な願いにこたえる 日本共産党 4議席


市議会議員
いぬい紳一郎


市議会議員
小田桐たかし


市議会議員
徳増きよ子


市議会議員
植田和子

人口急増により、子育て支援と高齢化対策を同時に取り組まなければならない流山市。3月議会で日本共産党は、難しい課題を抱えた市政に、市民の願いを届け、「誰もが安心して暮らせるまち」にと迫りました。

学校
過大・過密校の解消を

教員の長時間過密労働が慢性化するもと、一人ひとりの子どもに目が行き届くようにと、これまでは過大・過密校の解消に努力してきた流山市。しかし、井崎市長が人口誘致に力を入れて以降、過大・過密校が次々生み出されています。新設小学校を建設してもH34年度には、小山小学校に3・8校分、おおたかの森小学校に3・2校分の児童を詰め込むことになります。

日本共産党は、一人ひとりの子どもに向き合い、寄り添う学校環境の実現目指し、過大・過密校の解決に大きく舵を切るよう提起しました。



保育
「保育所落ちた」をなくせ 保育の質の向上と一体で

「母になるなら…」というパパやママが続出。昨年4月の待機児146人を今年は下回るものの、「ゼロ」とはほど遠い事態です。

保育料値上げ強行

また、近隣市では唯一、保育料値上げを強行。影響額は総額2億2千万円にもなります。「保育料の地域差、5倍近く。3歳未満の最高額は千葉県流山市」（15年11月29日、日経）という現状を、さらにひどくすることになります。

学童クラブを視察

日本共産党は、学童クラブの生活環境改善を求め市内施設を視察。子どもの人権に配慮された施設整備を確認するとともに、事業を担う民間事業者とは専門性の担保や継続性の難しさ等を共有しました。

今議会には国や県への意見書を発議し、全会一致で可決しました。

医療 介護
在宅をささえるネットワークの構築を

3月議会で日本共産党は在宅をささえる医療・介護の連携について質問。政府は「地域包括ケアシステム」を展望していますが、流山市は在宅医療の現状すら把握できていません。「病院から在宅へ」の流れが強まっており、在宅をささえるネットワークづくりは急務です。行政や医療・介護関係者、市民と力合わせ、年をとっても安心して暮らせる流山市の実現に力をつくします。



ゴミ収集
不正許さず追及

昨年、家庭ゴミ収集の委託業者に「事業系ゴミ等を家庭ゴミに混ぜている」との告発を受け日本共産党が独自調査を実施、徹底調査を求めました。その後、市の抜き打ち調査で、あってはならないゴミ混在が発覚。行政「指導」となりました。しかし、ごみ処理の取扱い許可を取り消されるような事態にもかかわらず、行政「指導」にとどめた背景は、委託料の大幅削減を優先させた市政経営にあります。



ひろげよう「ヒバクシャ国際署名」

歴史上初めて、核兵器禁止条約を正面の主題にすえた「国連会議」が行われました。

唯一の被爆国である日本政府が交渉への不参加を表明。一方、日本共産党は志位和夫委員長が「市民社会」の代表の一人として演説を行いました。

3月議会では「核兵器禁止を求める『ヒバクシャ国際署名』に市長としてすでに署名した」との答弁がありました。

「核兵器のない世界」の実現はみんなの願いです。日本共産党は引き続き力をつくします。



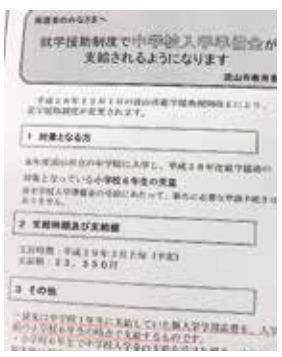
身近な要求実現



小児救急医療への助成金を増額
いぬい紳一郎



おおたかの森小中学校エアコン設置へ設計開始
小田桐たかし



就学援助の入学準備金2月支給に
徳増きよ子



江戸小、念願の洋式トイレ増設
植田　和子